

# 2022 10 S H I M I Z U

広報しみず  
ゆる・える

「まちに気づく まちを築く とから清水 ～想いをミライに繋ぐまち～」



特集  
令和3年度  
決算報告

## 知っておきたい! まちの家計簿

ゆる える 懐かしの清水町展 2022 開催

写真 清水町立清水小学校 開校 120 周年を記念した人文字 (120 清小) 作成の様子



特別会計・企業会計の決算額

【特別会計】 特定の事業を行う場合に、一般会計と区分して経理を行う会計です。

特別会計名	決算額		
	歳入	歳出	実質収支額
国民健康保険	12億6,364万円	12億4,973万円	1,391万円
後期高齢者医療保険	1億9,114万円	1億8,951万円	163万円
介護保険	11億7,593万円	11億3,055万円	4,538万円
合計	26億3,071万円	25億6,979万円	6,092万円

【企業会計】 民間企業と同じように、事業収益で運営される会計です。

企業会計名	決算額			説明
	収入	支出		
水道事業	収益的収支	2億6,885万円	2億4,691万円	資本的収入決算額が支出決算額に対し不足する額は留保資金等により補填
	資本的収支	9,455万円	1億6,608万円	
下水道事業	収益的収支	3億1,957万円	2億8,815万円	資本的収入決算額が支出決算額に対し不足する額は留保資金等により補填
	資本的収支	2億1,019万円	2億5,170万円	

主要施設の経常的運営費決算額

施設名	施設運営費	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国・道支出金	使用料・手数料・負担金	その他	
保育所・こども園・幼稚園	2億9,047万円	510万円	1,300万円	290万円	2億6,947万円
学童クラブ	4,409万円	1,215万円	1万円	—	3,193万円
学校給食センター	1億1,319万円	—	3,385万円	114万円	7,820万円
老人福祉センター	792万円	—	—	—	792万円
保健福祉センター	3,214万円	—	30万円	431万円	2,753万円
文化センター、公民館	9,856万円	28万円	98万円	—	9,730万円
図書館・郷土史料館	4,115万円	—	—	—	4,115万円
社会体育施設	7,832万円	—	—	—	7,832万円
清掃センター	4,767万円	—	7万円	—	4,760万円
町営育成牧場	2億4,534万円	—	2億1,594万円	—	2,940万円
役場庁舎	6,215万円	2万円	—	—	6,213万円
合計	10億6,100万円	1,755万円	2億6,415万円	835万円	7億7,095万円

\*地方財政状況調査に準じて、経常的な運営費経費を算出しています。  
 \*保健福祉センターと役場庁舎は、職員人件費を含んでいません。  
 \*社会体育施設…体育館（バレーコート含む）、農業研修会館、柔道場、町民野球場、有明公園多目的広場、アイスアリーナ（バレーコート含む）

財政の健全性を示す指標

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき、令和3年度決算の健全化判断比率などを公表します。清水町は赤字がなく、財政上のイエローカードを示す、早期健全化基準を下回っています。

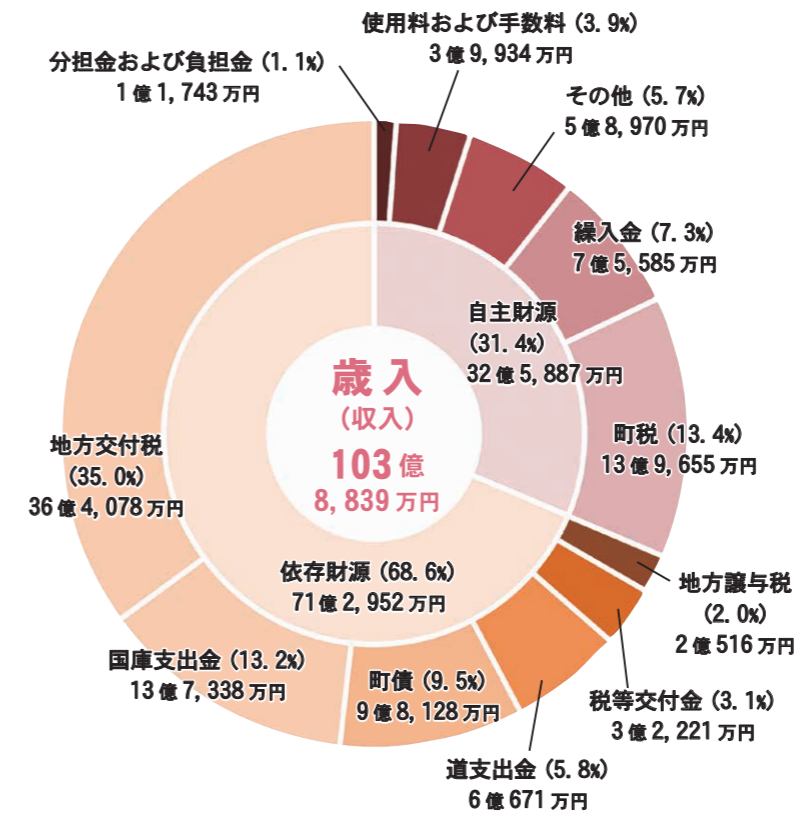
指標名	説明	比率	対前年度比	早期健全化基準	財政再生基準	
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	前年度赤字なし	14.87%	20.00%
	連結実質赤字比率	一般会計の他、特別・企業会計を含めた全会計の赤字の割合	赤字なし	前年度赤字なし	19.87%	30.00%
	実質公債費比率	町の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合	8.0%	1.9%	25.0%	35.0%
	将来負担比率	町の平均的な年間収入に対する将来負担が見込まれる負債の割合	算定なし		350.0%	
資金不足比率	公営企業ごとの事業規模に対する資金不足の割合	不足なし				

知っておきたい！  
まちな家計簿

清水町には、どのくらいの収入があり、どのような用途にお金が使われたのか、令和3年度の決算概要などについてお知らせします。

■問い合わせ先 総務課財政係（TEL 62-2111）

一般会計の決算額（一般会計：基本的な行政運営を行うための会計）



前年度より  
2億1,429万円増加  
**歳入（収入）**  
103億8,839万円

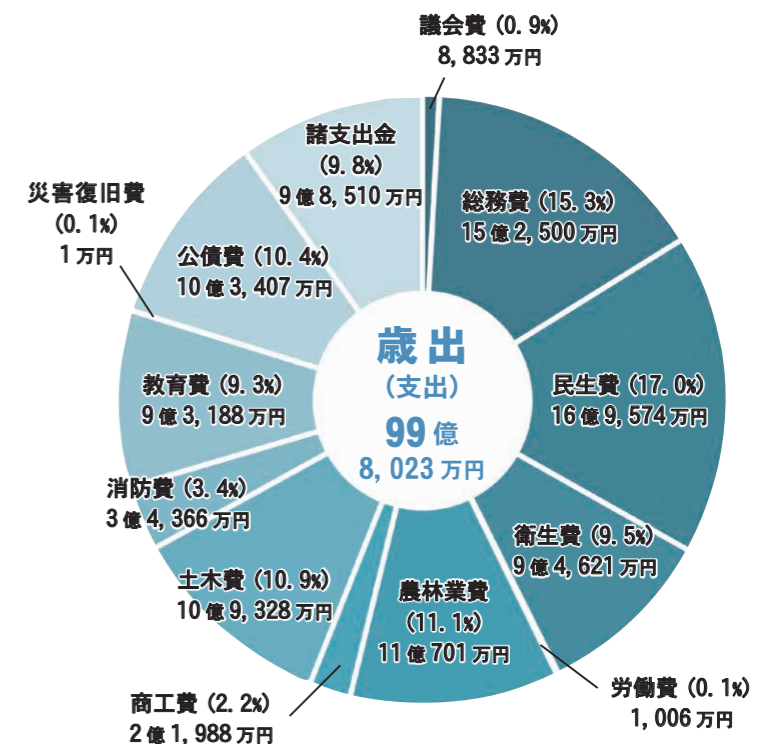
国や道から交付される収入の割合が高く、町が自主的に使えるお金は全体の約3割です。

- 【用語解説】
- ▶ 町税…町民税、固定資産税、軽自動車税など。
  - ▶ 繰入金…町の基金（貯金）から引き出したお金。
  - ▶ 使用料および手数料…公共施設利用料金、ごみ手数料など。
  - ▶ 分担金および負担金…給食費の負担金など。
  - ▶ 地方交付税…町が一定のサービスを確保するため国から交付。
  - ▶ 国庫・道支出金…各種事業に対し、国・北海道から交付。
  - ▶ 町債…公共施設の建設などに要する費用の借入金。
  - ▶ 税等交付金…町税以外の税目で北海道から交付。
  - ▶ 地方譲与税…国が徴収した税金の一部が町へ配分。

前年度より  
1億5,634万円増加  
**歳出（支出）**  
99億8,023万円

新型コロナウイルス感染症対策として給付事業を行ったため、民生費の割合が高くなりました。

- 【用語解説】
- ▶ 議会費…議会運営に。
  - ▶ 総務費…町の全般的な管理に。
  - ▶ 民生費…高齢者、障がい者、児童福祉に。
  - ▶ 衛生費…健康やゴミ処理などの衛生的な生活に。
  - ▶ 労働費…就労対策などに。
  - ▶ 農林業費…農林業振興に。
  - ▶ 商工費…商工業の発展や観光振興のために。
  - ▶ 土木費…道路、橋、公園の整備維持・管理に。
  - ▶ 消防費…消防・救急活動に。
  - ▶ 教育費…学校・社会教育に。
  - ▶ 災害復旧費…災害復旧に。
  - ▶ 公債費…公共施設の整備に借り入れたお金の返済に。
  - ▶ 諸支出金…将来の負担に備え基金への積み立てなどに。



### ■ 高齢者介護用品 購入費助成事業

決算額 **144**万円【民生費】

重度の要介護者を介護している家族に対して、介護用品購入費用の一部を助成しました。令和3年度は、要介護3の方まで対象が拡大。利用者は前年度より倍増し、35人が在宅介護に利用しました。

### ■ 子ども医療費無料化事業

決算額 **3,210**万円【民生費】

子育て世帯の経済的負担の軽減と、子どもたちの健康維持を目的に、0～18歳までの方にかかる医療費自己負担分（通院・入院）を全額助成しました。

### ■ 父母負担軽減事業

決算額 **577**万円【教育費】

すべての児童・生徒が十分な義務教育を受けられるよう、保護者の教育費負担の軽減を目的とし、学校行事費用の一部を助成しました。令和3年度から修学旅行費を全額助成へ拡大しました。

### ■ 清水高校振興事業

決算額 **575**万円【教育費】

清水高校の生徒に対して、希望する進路に向けた資格取得検定料や、御影地域からの通学費などを補助しました。また、学校の魅力を広く伝えるため、パンフレット・看板作成やFMラジオPR番組作成の支援などを行いました。

### ■ 図書館システム更新事業

決算額 **440**万円【教育費】

図書館のシステムをクラウド型に移行し、インターネット蔵書検索機能を加えました。このシステム更新により、自宅で図書館の所蔵資料を探ることができるようになりました。

### ■ 小中学校エアコン設置事業

決算額 **1億2,007**万円【教育費】

熱中症や感染症予防対策のため、小中学校に暖房機能付きエアコンが設置され、安心安全な学校環境を整えました。

#### PICK UP

##### 清水中学校の生徒にインタビュー

涼しい教室は  
授業に集中できます♪

**Q.** エアコンが設置されてから  
変化はありましたか？

“夏場、教室内に熱い空気がこもると、どうしても暑く感じ、なかなか授業に集中できませんでした。マスク生活の影響もあって、体育後の授業は特につらかったです。エアコンが設置されてからは、教室が涼しくなり、集中力がアップしました！”



清水中学校3年生 金田 惟良 さん

## まちのお金が活用されました！

令和3年度の一般会計歳出決算額は、99億8,023万円でした。  
どのような事業に対して、まちのお金が活用されたのか、抜粋してお知らせします。

### ■ 各種移住定住促進 奨励金・補助事業

決算額 **3,179**万円【総務費】

○ 新築住宅などの購入費の助成と、町外から転入し賃貸住宅に居住する世帯に奨励金を交付しました。交付件数は合わせて56件となっています。【決算額 2,468万円】

- ・ 子育て世帯定住促進 住宅取得奨励金 …… 17件
- ・ 移住者定住促進 住宅取得奨励金 …… 9件
- ・ 町内賃貸住宅居住者 住宅取得奨励金 …… 7件
- ・ 移住者 賃貸住宅家賃奨励金 …… 23件

○ 賃貸住宅のリフォーム費用の助成や、リフォーム後に移住者を居住させた場合に助成金の交付を行いました。交付件数は合わせて15件となっています。【決算額 711万円】

- ・ 定住促進 賃貸住宅リフォーム補助金 …… 10件
- ・ 賃貸住宅 移住者定住補助金 …… 5件

### ■ 地域情報化 推進事業

決算額 **5億9,218**万円【総務費】

農村部の光回線を整備し、地域による情報格差を解消しました。また、フリーWi-Fiを8か所の公共施設に設置し、来館者の利便性向上と、災害時の通信手段を確保しました。

### ■ 地域公共交通 活性化事業

決算額 **974**万円【総務費】

移動手段がない方々の交通手段を確保するため、「買い物・銀行バス」、「コミュニティバス」、「清水帯広線バス」、「新得帯広線バス」を運行しました。令和3年度は、特に「買い物・銀行バス」の利用者が増え、前年度より2,226人増の延べ4,342人が利用しました。

#### PICK UP

##### 買い物・銀行バス利用者にインタビュー

週に2回程度  
利用しています！

**Q.** 実際にバスを利用して見て、  
いかがでしたか？

“バスを利用してから1年ちょっとが経ちます。住まいが町から離れていて、なかなか外へ出て行けないので、とても助かっています。みんな親切ですし、臨機応変に対応してくれますよ。今後、歯医者など、送迎先が増えると良いと思います。”



人舞地区 矢萩 啓子 さん



## ■ 新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症対策として、感染予防用の備品整備や、公共施設などの利用者が陽性となった際に、感染可能性者に対してPCR検査を実施しました。また、消費の落ち込みにより、経済活動の影響を受けた町内事業者へ、商品券の発行やキャッシュレスポイント還元などの支援を行いました。



### ○ 感染症対策用 物品確保事業 決算額 89万円 [衛生費]

町内の公共施設に、消毒用アルコールやマスクを用意しました。

### ○ 感染確認検査事業 決算額 566万円 [衛生費]

公共施設などにおいて、利用者などが陽性となった場合、早期発見・感染症拡大を防ぐため、保健所からの指示を待たずに、感染の可能性のある方を町独自で判断し、PCR検査を実施しました。

### ○ 福祉・医療施設等 感染症拡大防止支援事業 決算額 470万円 [衛生費]

福祉・医療施設などを運営する事業者に対し、施設内の内部消毒や洗浄、検査費用などに要する費用の一部として、支援金を交付しました。

### ○ 中小企業近代化資金 利子補給等補助金 決算額 1,856万円 [商工費]

消費の落ち込みで影響を受けた中小事業者に対して、運転・設備資金融資に伴う保証料や利子を助成しました。

### ○ 地域活性化商品券事業 決算額 7,766万円 [商工費]

落ち込んだ消費の早期回復を図るため、年3回のプレミアム付き商品券の発行を支援しました。

### ○ キャッシュレスポイント還元事業 決算額 481万円 [商工費]

消費の落ち込みで売上げが減少した飲食店を対象に、電子決済利用時にキャッシュレスポイントを30%還元し、消費の拡大を図りました。

### ○ キャッシュレス端末機器 導入等補助金 決算額 1,107万円 [商工費]

非接触型で電子決済ができる「キャッシュレス」の推進を図るため、ハーモニーカード端末機器の更新にともない、電子マネー対応機器の導入を支援しました。

## ■ バイオガスプラント利活用促進事業 決算額 150万円 [農林業費]

化学肥料に頼らない有機農業を推進するため、畑作農家9戸の協力を得て、48ほ場にて消化液の実証実験を行い、有効な有機物資源としての利用を図りました。

## ■ 林業振興事業 決算額 9,229万円 [農林業費]

自然景観や森林の生態系を守り、町民の生活環境にとって重要な役割を持つ大気浄化に有効な森林を維持するため、植栽や間伐などを行い、町有林や民有林の整備を進めました。

## ■ 公園管理・遊具更新事業 決算額 5,800万円 [土木費]

清水中央公園と御影公園に、新たに複合遊具を設置しました。また、定期的な草刈りや、遊具点検を実施し、利用者が安全に使用できるよう、公園の維持管理を行いました。

## ■ 不妊・不育症治療費助成事業 決算額 283万円 [衛生費]

出産を望む世帯の経済的負担の軽減を目的に、不妊治療費用を引き続き助成しました。令和3年度は、特定不妊治療費助成（道の助成額を差し引いた1回30万円まで）は12件、一般不妊治療費助成（1年度につき10万円まで）は14件の利用がありました。

## ■ 新型コロナウイルス感染症対策 給付事業

新型コロナウイルス感染症が長期化し、影響を受けた世帯や小規模事業者を支援するため、給付金を支給しました。

### ○ 子育て世帯生活支援 特別給付金 決算額 320万円 [民生費]

高校生以下の保護者のうち、住民税（均等割）が、非課税または急落により非課税相当となった方に対して、生活を支援するため、児童一人当たり5万円の給付を行いました。

### ○ 子育て世帯 臨時特別給付金 決算額 1億757万円 [民生費]

子育て世帯の生活を支援するため、児童一人当たり10万円の給付を行いました。

### ○ 住民税非課税世帯等 臨時特別給付金 決算額 1億274万円 [民生費]

様々な困難に直面した方の生活を支援するため、対象世帯一世帯当たり10万円の給付を行いました。

### ○ 小規模事業者 持続的発展支援事業給付金 決算額 100万円 [商工費]

予防対策のための設備投資や販路拡大を目指す小規模事業者に対して、国の持続化補助金の自己負担の一部を助成しました。





秋～心を染める 色の中で 感性みずみずしく

### 芸術の秋、読書の秋、学びの秋 子どもの感性が育ち、成長する秋

「芸術の秋」～「芸術鑑賞会」が開催され、小学生は劇団風の子による演劇、中学生は落語会を鑑賞し、プロの演技や話術に引き込まれ、心を揺さぶられるとともに、その表現力の素晴らしさを満喫し、芸術にふれることができた70分間となりました。

「読書の秋」～学校での「朝読書」や「読み聞かせ会」、家庭での「家読書」等の取り組みを通して、感性豊かな子どもを育てていきます。

「学びの秋」～普段の学習活動の中で、考えること・知ること・気づくこと・実行することを通して、知識豊かで実行力のある子どもを育てていきます。

子どものみずみずしい感性が生まれ、大きく成長することを期待する秋です。



「朝読書」～朝の10分、心静かに落ちついて本と向き合う時間



友だちと話し合い、自分の考えを深める学習の時間

## Topics (トピックス)

### ●中央公民館講座● 「チャレンジクラブ」



中央公民館では、小学生を対象に自然遊びや工作を通して、豊かな心を持つ元気な子どもを育成することを目的として「チャレンジクラブ」を実施しています。前期は、全6回の実施となりました。

9月には、サイクリングを行い、子どもたちは、気持ちよさそうに自転車を走らせていました。

後期のチャレンジクラブは、10月に募集しますので、新たに参加したいというお子さんや前期に参加したお子さんなど、たくさんの参加をお待ちしております。

## 図書館だより

毎月19日はしみず読書の日

### 読書週間は図書館へ！

10月27日～11月9日の期間は、読書週間です。町図書館では、読書をもっと楽しんでもらおうと、読書週間中「読書通帳」を配布します。「読書通帳」は、読書の感動の記録や読んだ本の備忘録となるノートです。どうぞご利用ください。



### 新着図書からピックアップ

#### 『財布は踊る』



原田ひ香著  
「家族でハワイに行く」「ヴィトンの財布を買う」という夢のため、節約にはげむ専業主婦のみづほ。努力が実り二つの夢を叶えますが、夫に200万円もの借金があることが発覚し、手に入れたばかりの財布を売りに出します。彼女の財布は、その後、株で失敗したサラリーマンなどのお金に悩む人の手に次々と渡っていき…。

財布を手にした人々の人生が、思わぬ形で交差する連作短編小説です。

#### 『とんこつQ&A』

今村夏子著

#### 『見習医ワトソンの追究』

鈴木蓮著

#### 『母の国、父の国』

小手鞠るい著

#### 『先祖探偵』

新川帆立著

#### 『腹を割ったら血が出るだけさ』

住野よる著

#### 『残星を抱く』

矢樹純著

#### 『めちゃうま!?昆虫食事典』

内山昭一監修

#### 『仕事と人生の格を上げる』

アドラー 一日一言

小倉広監修



おすすめの本・新着図書の情報などは図書館ホームページからご覧いただけます！ホームページは左記のQRコードまたは「十勝 清水 図書館」で検索してみてください！



懐かしの写真が展示された会場



展示されている写真(その1)



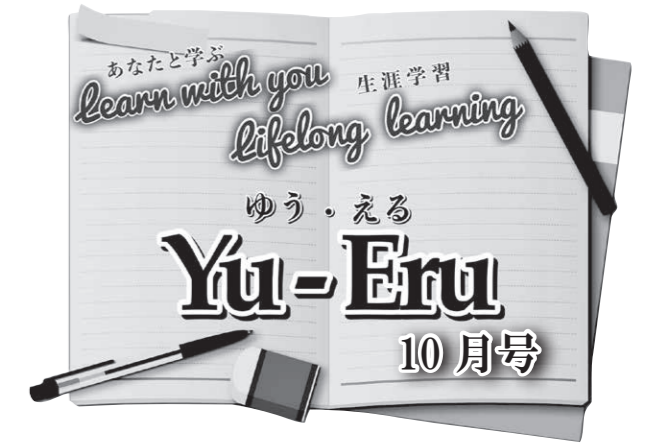
VTRが上映されている会場



展示されている写真(その2)



当時の風景を懐かしむ人々



## 懐かしの清水町展2022開催

開町120年を記念し、町文化センターにて「懐かしの清水町展2022」が開催されました。会場には、開拓期の風景や昭和の人々の生活や町並み、生活を支えた産業や学校などの写真全150点が展示され、訪れた方々は当時の風景を懐かしんでいました。  
また、開町70年記念時に作成された「豊かなる清水」と、今回作成された「清水町120年の歴史と変遷」のVTR上映も行われ、来場者は興味深く視聴していました。  
今回の写真展示とVTR上映は、10月18日(火)から24日(月)までの期間、御影公民館大集会室でも開催されますので、ぜひ足をお運びください。

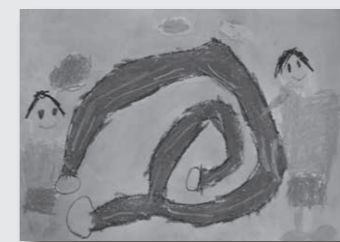
## 第36回 町民絵画展 開催!

9月2日～6日に、町文化センターホワイ工にて、第36回町民絵画展が開催されました。会場には、幼児から大人までの絵画作品全216点が展示されました。訪れた皆さんは、町民の作品を鑑賞し、芸術の秋を楽しんでいました。

来場者の皆さんに選考投票をいただいた結果、文化会館賞に、次の3名が選ばれました。作品は文化センターに展示しています。



「あさがお」 いしい けんとうさん (しみず保育所)



「ながしろうめん」 みうら るいさん (清水幼稚園)



「なつのおもいで」 かのう さわさん (御影こども園)

裕から心のゆとり・やすらぎ、豊かな心を身につけようという意味が込められています。それぞれの頭文字L(える)と、日本語の「得る」という意味を持っています。



## 高齢者や障がい者の『意思決定支援について』



**■意思決定支援とは**  
 高齢や障がい等により、自己決定する（自分で決める）ことが困難になった人に対して、日常生活や社会生活に関して、自らの意思が反映された生活を送ることが可能となるように、本人の意思の確認や意思および選考の推定、最後の手段としての最善の利益の検討のために、家族や関わりのある専門職が行う支援のことを言います。

**■意思決定支援における基本的視点**  
 「本人中心主義（パーソンセンタード）」  
 ・あらゆる人が自分で決定し、自分の人生を決める権利を持つていことを認識する。  
 ・本人が自己決定するためのベストなタイミングなのか、常に自問自答する。

この時に、環境はふさわしいか、決定を議論するのが適切な時期か、時間をとって、十分な情報や明確な選択肢が与えられているか等について、配慮する必要があります。

**■意思決定支援のポイント**  
 「支援者の価値判断が先行していかないか？」  
 判断の前に、本人の希望に着目し「開かれた質問」で尋ねる。

【お問い合わせ先】  
 保健福祉課在宅支援係  
 (地域包括支援センター)  
 ☎ 09-22233

「本人の理解と、支援者の理解に相違はないか？」  
 同じ趣旨の質問を、時間を置いて違う角度から行ったり、説明された内容を忘れてしまっこともあるため、その都度説明して、本人の「理解」をできる限り確認する。  
 「決断を迫るあまり、本人を焦らせていないか？」  
 時間をかけて「コミュニケーション」を取り、本人の考えを確認して、時間の経過や状況により、意思が変わることもあることを許容する。  
 「本人の表明した意思が、これまでの本人の生活歴や価値観等から見て整合性があるか？」  
 表面上の言葉にとらわれず、本人の心からの希望を探求する。

**■最後に**  
 意思決定支援については、何が正しいか分かりにくいと思いますが、本人の意思に近づいた決定を支援できるような心掛けて関わることが重要といえます。

## 清水歴史探訪 [25]

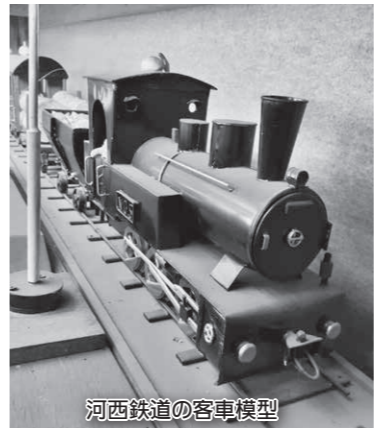
### 「清水町の農業の変遷」 「甜菜と河西鉄道」

十勝清水郷土史研究会 監修

清水町の甜菜栽培の歴史を調べると、明治20年代に栽培が試みられたようです。しかし、近隣に製糖工場がないことや、品種の選定・栽培方法が確立していないという理由で、明治期の栽培は軌道に乗っていませんでした。道内の他の工場も、原料運搬の困難が大きな原因で、製糖事業が成功に至りませんでした。

砂糖の国内生産の必要性と、寒冷地での冷害に強い作物の必要性という面で、甜菜は重要な役割を持っていました。そのため、大正8年に帯広に北海道製糖株式会社、翌9年に清水町に日本甜菜製糖株式会社設立されました。日甜は、多くの原料の必要性から、十勝開墾合資会社に、甜菜の栽培を依頼しました。

熊牛をはじめとする、その農地を巡るように、大正10年に河西鉄



・文責 宮崎 幸夫  
 (十勝清水郷土史研究会)

道が完成し、運行を開始しました。原料運搬のための鉄道が整備されたことにより、清水町での甜菜の栽培面積は、大正10年に、700ヘクタールにまで増えました。

河西鉄道の開通に合わせ、鹿追小学校の校長先生が作られた河西鉄道の歌がありました。

「荒蕪を拓きて沃野をたてて 今日より通ずる汽車のひびき 祝えや 祝え 我らが愛する鹿追平野 今こそ輝く文化の光」

河西鉄道の果たした役割は、交通の役割だけではなく、文化の光にもなっていたようです。

河西鉄道の客車は18人乗りで「マッチ箱」と呼ばれる可愛いものでした。その模型が、現在も熊牛の寿光寺に展示されています。

## HELLO BABY



「広報しみず」にお子さんの写真を掲載しませんか？



瀬町 環太 ちゃん

いっぱい笑って 元気に大きくなってね！

「HELLO BABY」コーナーでは、6か月から2歳くらいの赤ちゃんを掲載しています。掲載を希望される方は、企画課広報広聴係までお気軽にご連絡ください。役場に来た際に、係へお声がけいただければ、その場で撮影いたします♪写真はメールでも受け付けていますので、下記メールアドレスまでお送りください。ご連絡お待ちしております！  
 Mail:koho1@town.shimizu.hokkaido.jp

## 健康 最前線

### 手指消毒液、正しく使えていますか？

倉重 千晶 保健師

新型コロナウイルス感染症の予防のため、スーパーや飲食店、公共施設などに手指消毒液（アルコール消毒液）が設置されていることが増えましたが、その消毒液をどのように使っていますか。消毒液をさっと手につけるだけで満足していませんか。

消毒液はウイルスなどと接触しなければ、消毒はできません。ウイルスは手のひらだけでなく、指先や爪、指の間、手の甲など、どこにでもついている可能性があります。

そのため、消毒液は手指全体にまんべんなく塗り広げなければ、十分な効果が得られません。WHOのガイドラインでは、「消毒液を10〜15秒擦り合わせたあと、手が乾いた感じがあれば、塗布量が「十分」とされています。手の大きさによって、必要な量は変わるので、ポンプをしっかりと最後まで押し切ることを意識して、まずは1プッシュの消毒液を擦り込みます。15秒以内に乾くようであれば追加して、消毒液が完全に揮発するまで、しっかりと擦り込むことがポイントです。

また、手が汚れた状態で消毒液を使うと、効果が低下するので、手が洗える場所では、事前に手の汚れをとることも大切です。

#### 「手洗い・手指消毒の手順」

- ① 次の①〜⑥の手順で、石けんと流水を使い、手を丁寧に洗った後、よく拭き取り、再び①〜⑥の手順で、15秒以上かけて消毒液を塗り広げましょう。
- ② 手のひらをこすりあわせる
- ③ 手の甲から指先を反対の手で伸ばすようにこすり
- ④ 指の間をこする
- ⑤ 指先と爪の間を、反対の手の平にこすりつける
- ⑥ 親指をねじるようにこする
- ⑦ 手首をねじるようにこする

秋から冬は、新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザなどの他の感染症の流行も心配されます。手の清潔は感染症予防の基本です。決しておろそかにせず、基本を大切に、二気寒に寒い季節に立ち向かしましょう。



人口 9,062人 (-8)  
男 4,476人 (-7) 女 4,586人 (-1)  
世帯数 4,685 (-3)  
令和4年9月末現在( )は前月比

10/16	日	■大笑いライブin十勝しみず (文セ 13時30分)	11/1	火	■エントランスホール展 「清龍会てん刻展」~28日まで(図書 10時) ■町民芸術文化祭 展示部門~3日まで(文セ 10時)
17	月		2	水	
18	火	■懐かしの清水町展2022~24日まで(御支 9時)	3	木	■町民芸術文化祭 舞台部門(文セ 13時) ■第62回御影芸術文化祭 芸能発表会(御支 13時)
19	水	■無料法律相談会(役場 13時) ■除籍済み資料・雑誌の無料提供 ~24日まで(図書 10時~18時)	4	金	
20	木	■運転免許更新時講習(文セ 優良 13時30分、一般 14時30分、違反 16時)	5	土	■似顔絵講座「大切な人に似顔絵をおくろう！」 (図書 13時15分・14時30分)
21	金	■スマホ講習会第3回(老人福祉センター 15時)	6	日	
22	土	■十勝水トラックマーケット(サツドラ十勝清水店前 9時) ■おはなし会(図書 11時30分)	7	月	
23	日	■Arts @ Local 十勝しみずプレミアムオペラ コンサート(文セ 14時)	8	火	■町民と町長のふれあいトーク(役場 9時)
24	月		9	水	■子育て講演会「親子で楽しくリミック」 (保セ 10時15分)
25	火		10	木	
26	水		11	金	
27	木		12	土	
28	金	■第62回御影芸術文化祭 総合美術展~11月3日まで(御支 10時)	13	日	■普通救命講習 I (消防 9時)
29	土	■みんなで1から考えるSDGs講座(文セ 10時)	14	月	
30	日		15	火	
31	月				

※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、行事が中止・延期になる可能性がありますので、ご了承ください。

役場=清水町役場 文セ=文化センター 御支=御影支所 保セ=保健福祉センター 図書=図書館  
ハモ=ハーモニープラザ 町体=清水町体育館 アリ=アイスアリーナ 改善=改善センター  
消防=清水消防署 し保=しみず保育所 御こ=御影こども園 幼稚=幼稚園  
清小=清水小学校 御小=御影小学校 清中=清水中学校 御中=御影中学校



つくってみよう!!マイナンバーカード!!

郵送やスマートフォンなどで、申請ができます。相談は下記までご連絡ください。

■マイナンバー総合フリーダイヤル■

☎ 0120-95-0178

平日 9時30分~20時  
土日祝 9時30分~17時30分

■役場 町民生活課■

☎ 0156-62-1151

平日 8時45分~17時30分  
(閉庁日を除く)

こんにちは  
広報モニタ  
です

★生涯現役で、健やかに働くみなさんの様子を、町のそここで目にする。町を支えている姿がカッコ良いと思っ  
★高齢者が増えるご時世でのPRは、良いことだと思っ  
★「良い意味で、ゆるさが魅力」が心に響いた。時間と心にゆとりが持てる働き方だと思っ  
★みなさんの笑顔が印象的で、将来の働き方の選択肢の一つにしたい。  
★シルバー人材センターの仕組みと利用したい方の内容が、少し重複しているように感じた。  
★「社会教育関係団体で活動してみませんか?」では、各団体への問い合わせ先がホームページからだったので、インターネット環境がない方への配慮もあれば良いと思っ  
★清水歴史探訪では、農産物の価格が、世界情勢と大きな関係があることを知り、戦争の影響が農業に直結することが分かった。

★手押し信号機の設置について、早急な対応はありがたい。徒歩通学の子どもたちが通るので、先回りして命を守るように、安全面をカバーしてもらいたい。要望があれば、少し勇気を出して、提案や相談をしてみることが必要だと感じ  
★保護司の記事に興味を持った。町に、8名の保護司がいることを初めて知った。民間のボランティアに支えられていることに、敬意を表す一方で、民間ボランティアに頼るだけで良いのだろうかと思っ  
★清水ジュニアブラスバンドのみなさん、全道大会出場への飛躍が大変素晴らしい。  
★ひまわりの絆プロジェクトの意義に感銘した。交通事故が、さらに減るように願っている。  
★今年も町内に素敵な景色が広がった。美しいひまわりを見たなら、しっかりと思い出して、交通事故に気を付けようと思っ  
★町内各地域で取り組まれている「地域交流サロン」の様子を紹介して欲しい。

町長の日記



JET日本語学校との交流  
清水町と東京都北区は、渋沢一翁を縁として、地域交流や経済交流で連携を進めてきている。

そのような中、9月26日には、北区にあるJET日本語学校の生徒が本町を訪れてくれた。台湾出身者3名と、英国人国籍を持つ香港出身者1名の計4名が来町。

初日には、宿泊場所の羽帯ペケレベツ山荘で、歓迎会を開いた。29日までの4日間、観光体験や農業体験など、十勝・清水を十分満喫したよう

です。  
最後の日は、これからの夢を語ってもらいましたが、皆さん、台湾・香港と日本の懸け橋になるような仕事をしたいそうです。今後の益々の活躍を期待します。



生徒の皆さんと一緒に

ちようみん作品館

短歌の寄稿がありましたので、紹介します。

短歌

【玲瓏短歌会】

「微助つ人」とテレビで知りぬ老いてなお常にありたしと願う云の葉

田村徳子

台風にて畠一面水覆い今更ながら里心なり

宗像三郎

四十雀の食べ残したるヒマワリの種の育ちて花ある庭に

大石 尚

兄は逝き庭に一輪朱の百合を語りかけつつ墓前に立ちぬ

藤原静子

発芽せし不意に傷める百合なれど負けじ育ちて吾を和ます

森山ヤヨイ

アブラ虫をティッシュで除き天道虫葉の上におき虫もえらばれ

村谷三恵

盆明けし赤や黄色のミニトマト野菜はそれぞれ早や秋の色

安済哲子

旅人を待ちて呉るるか満開のハナミズキ並木湯の街通り

橋本佳代子

あとがき

■今年も残すところ、あと3か月となりましたね。今回は、秋を感じる取材となりました。特に、「みかげ秋まつり」に来ていた子どもたちの楽しそうな笑顔が、印象に残っています。来年度以降も開催が続くと良いですね。また、清水小学校が120周年を迎え、母校に関わる取材ができて、うれしかったです。取材にご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。(谷口)

■今年度で、開町120年を迎える清水町。これを記念して1日には開町記念式典が開催されました。式典では、これまで長い期間に渡って活動されている団体や個人の方々の表彰が行われました。多くの町民や団体の皆さんの支えがあって、自分が今こうして清水町で働けているのだと、改めて町民の皆さんへの感謝の気持ちを持ちながら、これからも頑張ろうと思えました。(中澤)



# じょうほう かわらばん



9/2 町文化センターで、3年ぶりに「清水町敬老会」が開催。社会人落語家 天神亭きよ美氏による創作落語が披露されました。



9/4 清水消防署で「普通救命講習Ⅰ」が開催され、参加者は応急手当の方法などを学びました。



9/12 清水中学校陸上部の選手3名が、全道大会の出場結果を報告し、教育長が労いの言葉を伝えました。



9/21 (株)ドゥテックへ、社会貢献活動(清水公園の環境整備)への感謝状を贈呈しました。



9/21 清水開発工業(株)と(株)池戸土建へ、社会貢献活動(御影鉄南中央公園の環境整備)への感謝状を贈呈しました。



9/21 幕別・勇経常建設共同企業体へ、社会貢献活動(熊牛共同墓地の環境整備)への感謝状を贈呈しました。



9/26 十勝清水ライオンズクラブへ、社会貢献活動(御影こども園の保育環境整備)への感謝状を贈呈しました。



9/27 町文化センターで、「更生保護女性会」研修会が開催され、せせらぎ荘 援助課長 鈴木康功氏による講演が行われました。

# 9月の作品展 芸術の秋、深まる

町では、9月に3つの作品展が開催されました。1日からの「河内野十勝支部俳句会作品展」では、個性豊かな俳句作品が、図書館エントランスホールに並びました。2日からの「第36回町民絵画展」では、計216点の作品が町文化センターに展示されました。15日からの「第31回郷土作家展 風化する記憶『トーチカ』変様」では、写真家 山下僚さんが撮影した作品が御影公民館に飾られました。また、10月から11月にかけては、オペラコンサートや芸術文化祭を開催する予定です。今年の秋は、ぜひ芸術にふれてみてはいかがでしょうか。



## みなさんも芸術の秋を楽しみませんか？

清水町開町120年記念

### しみずフォトコンテスト

まちの魅力をもっと知っていただくことを目的に、清水町らしい、四季折々に表情を変える町の風景写真等を募集します。

作品募集 募集期間 6/1 Wed ▶ 11/30 Wed

- 応募要件
- 作品の撮影場所は清水町内に限ります。
  - 応募者本人が撮影し著作権を有しているコンテスト等に未提出の作品。
  - 応募点数は1人5点までとします。入賞は1名1点とします。
  - 清水町内外、どなたでも応募できます。ただし、中学生以下は保護者の了解が必要です。

- 賞品
- 最優秀賞 1点 賞状・副賞 (20,000円程度の地域特産品)
  - 優秀賞 2点 賞状・副賞 (10,000円程度の地域特産品)
  - 入選 2点 賞状・副賞 (5,000円程度の地域特産品)

- 写真現物の場合 ● カラープリントの四切り(ワイド含む)またはA4サイズ。応募作品1点ごとに応募票を添付の上、清水町役場あてに郵送又はご持参下さい。
- データの場合 ● jpegデータに限り。役場のカラープリンターで印刷した画質での審査となります。ある程度の引き伸ばしに対応できる画質での撮影を推奨します。
- メールで応募する場合 ● 1作品を1通のメールにて送信してください。件名に「フォトコン応募」と付け、メール本文に応募必要事項(下記応募票を参照)を記入し、作品を添付してください。データ量は1作品5MB程度とします。
- 持参される場合 ● USB、SDカード等の記録媒体と、応募票を事務局に持参してください。提出時にデータを移行し、記録媒体は返却します。
- SNSの場合 ● ツイッター、フェイスブック、Instagramにて、ハッシュタグ (#しみず120年記念)をつけて投稿することで応募することができます。

応募の詳しいQRコードへ!!

応募・お問い合わせ先

清水町役場 〒089-0192  
企画課企画統計係 北海道十勝清水町南4条2丁目2  
0156-62-2114  
kikaku1@town.shimizu.hokkaido.jp



## 9/11 みかげ秋まつり



9月11日、「みかげ秋まつり」が御影地区で開催されました。御影地区秋まつり実行委員長の長谷川弘さんは「3年ぶりの開催となり、大勢の人に来てもらえて、まちが元気になった気がする」と話してくれました。また、訪れた子どもたちは「いろいろな物があって楽しかった!!」と大満足の様子でした。

## ジャンボ白菜収穫!!



美蔓地区の牧野幸司さん宅で、ジャンボ白菜が収穫されました。ジャンボ白菜は8kgで、通常サイズと比べて約3倍。牧野さんは「市場でもあまり見ないサイズ。特別なことはしていないが、まさかこんなに大きく育つとは思わなかった。漬物にして食べるか、知人におすそ分けしようと思う」と笑顔で話してくれました。





当時6年生の生徒と先生のみなさん



当時5年生の生徒と先生のみなさん



当時4年生の生徒のみなさん



当時4年生の生徒と先生のみなさん

## 20年の時を経て... タイムカプセル開封

清水小学校開校120周年記念事業「タイムカプセル開封式～トキノカケラ～」が、町文化センターで、8月7日に開催されました。平成14年に開校100周年を記念して、封入されたタイムカプセル。20年の時を経て、当時、小学1～6年生だった生徒や先生とともに、思い出の品が開封されました。

タイムカプセルの中からは、家族からの手紙、当時の写真、自分の夢が書かれた紙などが出てきました。参加者たちは、同級生や先生との再会に昔を懐かしみ、学生だった頃の話に花が咲いている様子でした。

### 11月に開校120周年記念式典を開催

11月19日(土)には、「清水小学校開校120周年記念式典」が開催されます。式典では、現在小学校に通っている生徒たちで、新しくタイムカプセルへの封入が行われます。



思い出ボックスを取り出す大久保さん(中央)

清水小学校	6年2組
この日のために、道外から帰省しました。17年ぶりに会った友人もいて、当時の思い出がよみがえってきます。 大久保さん	



同級生と思い出の品を手取る匂坂さん(右)

清水小学校	1年2組
久しぶりに同級生の名前を見て、懐かしい気持ちになりました。みんな今は何をしているのかな?と思います。 匂坂さん	



広報しみず764号  
学習情報ゆう・える487号

●発行 北海道清水町 ●編集 企画課広報広聴係 0156(62)2114  
●発行・編集 清水町教育委員会 0156(62)5115  
◆北海道清水町ホームページ <https://www.town.shimizu.hokkaido.jp/>